

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
家庭科教育法	講義	2単位	須川妙子

記載不要

【授業のテーマ及び到達目標】

授業のテーマ： 家庭の役割を子どもたちに伝える方法を知る。

到達目標： 子どもたちに興味関心をもたせる「家庭」の授業設計ができるようになる。

【授業の概要】

1 年次科目『家庭』で得た理論に基づき、他教科との関連を含めた授業実践論を講義し、演習による授業実践力を養う。授業時間の前半は講義とし、後半は課題に取り組む演習となる。模擬授業は原則として全員が2回以上行う。

【全体の授業計画・内容】

1. ガイダンス 1 年次科目「家庭」の復習 テキスト①: 序章、1 章、2 章

予 習: テキストに目を通し、記載されている指導案について自身の見解をもつ【1時間】

授 業: テキストに基づく講義にて、科目関連の知識の習得(1 年次講義「家庭」の復習を含む)と、授業展開について学生間の議論を通して指導案づくりを行う【1. 5時間】

復 習: 授業内容をふまえて、模擬授業用の指導案を作成する【1 時間】

2. カリキュラムマネジメントと評価 テキスト①: 3章、4章、5章

予 習: テキストに目を通し、記載されている指導案について自身の見解をもつ【1時間】

授 業: テキストに基づく講義にて、科目関連の知識の習得(1 年次講義「家庭」の復習を含む)と、授業展開について学生間の議論を通して指導案づくりを行う【1. 5時間】

復 習: 授業内容をふまえて、模擬授業用の指導案を作成する【1 時間】

3. 家庭科の授業づくりの工夫 テキスト①: 11章、12章、13章、14章

予 習: テキストに目を通し、記載されている指導案について自身の見解をもつ【1時間】

授 業: テキストに基づく講義にて、科目関連の知識の習得(1 年次講義「家庭」の復習を含む)と、授業展開について学生間の議論を通して指導案づくりを行う【1. 5時間】

復 習: 授業内容をふまえて、模擬授業用の指導案を作成する【1 時間】

4. 「家族・家庭生活」の授業設計 テキスト①: 6章

予 習: テキストに目を通し、記載されている指導案について自身の見解をもつ【1時間】

授 業: テキストに基づく講義にて、科目関連の知識の習得(1 年次講義「家庭」の復習を含む)と、授業展開について学生間の議論を通して指導案づくりを行う【1. 5時間】

復 習: 授業内容をふまえて、模擬授業用の指導案を作成する【1 時間】

5. 「食生活」の授業設計 テキスト①: 7章

予 習: テキストに目を通し、記載されている指導案について自身の見解をもつ【1時間】

授 業: テキストに基づく講義にて、科目関連の知識の習得(1 年次講義「家庭」の復習を含む)と、授業展開について学生間の議論を通して指導案づくりを行う【1. 5時間】

復 習: 授業内容をふまえて、模擬授業用の指導案を作成する【1 時間】

6. 「衣生活」の授業設計 テキスト①: 8章

予 習: テキストに目を通し、記載されている指導案について自身の見解をもつ【1時間】

授 業: テキストに基づく講義にて、科目関連の知識の習得(1 年次講義「家庭」の復習を含む)と、授業展開につ

いて学生間の議論を通して指導案づくりを行う【1.5時間】

復習:授業内容をふまえて、模擬授業用の指導案を作成する【1時間】

7. 「住生活」の授業設計 テキスト①:9章

予習:テキストに目を通し、記載されている指導案について自身の見解をもつ【1時間】

授業:テキストに基づく講義にて、科目関連の知識の習得(1年次講義「家庭」の復習を含む)と、授業展開について学生間の議論を通して指導案づくりを行う【1.5時間】

復習:授業内容をふまえて、模擬授業用の指導案を作成する【1時間】

8. 「消費生活と環境」の授業設計 テキスト①:10章

予習:テキストに目を通し、記載されている指導案について自身の見解をもつ【1時間】

授業:テキストに基づく講義にて、科目関連の知識の習得(1年次講義「家庭」の復習を含む)と、授業展開について学生間の議論を通して指導案づくりを行う【1.5時間】

復習:授業内容をふまえて、模擬授業用の指導案を作成する【1時間】

9. 模擬授業の計画

予習:1~8回目で作成した指導案を見直す【2時間】

授業:持ち寄った指導案を提示しながら、模擬授業の分担を話し合う。【1.5時間】

復習:自身の模擬授業担当回の指導案を練り直す。生徒役の回の発言等を検討する。【1時間】

10. 模擬授業の実践(家族・家庭生活) ※模擬授業、模擬授業用指導案は「試験」です。

予習:模擬授業担当者は、授業展開の趣味レーションをする。生徒役は発言等を考える。【2時間】

授業:模擬授業と改善点等の検討会。【1.5時間】

復習:指摘された改善点を2回目の模擬授業に活かすせるようにする。【1時間】

11. 模擬授業の実践(食生活) ※模擬授業、模擬授業用指導案は「試験」です。

予習:模擬授業担当者は、授業展開の趣味レーションをする。生徒役は発言等を考える。【2時間】

授業:模擬授業と改善点等の検討会。【1.5時間】

復習:指摘された改善点を2回目の模擬授業に活かすせるようにする。【1時間】

12. 模擬授業の実践(衣生活) ※模擬授業、模擬授業用指導案は「試験」です。

予習:模擬授業担当者は、授業展開の趣味レーションをする。生徒役は発言等を考える。【2時間】

授業:模擬授業と改善点等の検討会。【1.5時間】

復習:指摘された改善点を2回目の模擬授業に活かすせるようにする。【1時間】

13. 模擬授業の実践(住生活) ※模擬授業、模擬授業用指導案は「試験」です。

予習:模擬授業担当者は、授業展開の趣味レーションをする。生徒役は発言等を考える。【2時間】

授業:模擬授業と改善点等の検討会。【1.5時間】

復習:指摘された改善点を2回目の模擬授業に活かすせるようにする。【1時間】

14. 模擬授業の実践(消費生活と環境) ※模擬授業、模擬授業用指導案は「試験」です。

予習:模擬授業担当者は、授業展開の趣味レーションをする。生徒役は発言等を考える。【2時間】

授業:模擬授業と改善点等の検討会。【1.5時間】

復習:指摘された改善点を2回目の模擬授業に活かすせるようにする。【1時間】

15. 模擬授業予備日 ※全員が模擬授業を終了していた場合は、総括としての討論会を行う。

(模擬授業の場合) ※模擬授業、模擬授業用指導案は「試験」です。

予習:模擬授業担当者は、授業展開の趣味レーションをする。生徒役は発言等を考える。【2時間】

授業:模擬授業と改善点等の検討会。【1.5時間】

復習:指摘された改善点を2回目の模擬授業に活かすせるようにする。【1時間】

(討論会の場合)

予 習：すべての授業計画、模擬授業を振り返る。【2時間】

授 業：模擬授業の反省を踏まえて、年間の授業計画について討論。【1.5時間】

復 習：討論を踏まえて、年間の授業計画を見直す。【2時間】

【学習のあり方】

真摯な態度で受講すること

学生間の討論の際には、積極的に発言すること。

指示以外でパソコン、スマートフォン等の使用や撮影録音禁止。

【成績評価】

模擬授業の指導案(40%) 模擬授業(40%) 受講態度(20%)

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

課題には授業を通じて助言する。

【テキスト】※必ず購入すること(授業でテキストへの書込みを指示するので、借り物では受講できません。)

① 大竹美登利 編『小学校家庭科教育法』建帛社 ISBN978-4-7679-2114-3

② 『わたしたちの家庭科 5・6』開隆堂 ISBN978-4-304-08064-7

③ 文部科学省『小学校学習指導要領解説 家庭編』東洋館出版部 ISBN978-4-491-02374-8

【参考文献】

柴田義松 監修『家庭科の本質がわかる授業 1 生活を見つめる食』日本標準

柴田義松 監修『家庭科の本質がわかる授業 2 生活を見つめる家族・家庭生活』日本標準

柴田義松 監修『家庭科の本質がわかる授業 3 生活を見つめる衣生活と消費・環境』日本標準

【実務経験の有無】

本科目担当者の中学高校における家庭科教員の経験を、家庭科授業展開における実例として例示する。